

2014年度版6人制ルールブックの変更点

<P1 図1>

※ **変更** **監督フリーゾーン**（監督の立ち歩ける範囲を囲う）エンドラインより1m中央寄り

<P3 第1表>

第2項 ネットの高さは（第1表）

ネットの高さは、コート中央部で、種別に応じて、次表のとおりとする。この場合、両サイド・ライン上のネットの高さはコート面から等しく、かつ、規定の高さから上下2cmを超えてはならない。※追加

第1表 ネットの高さ **※追加**

<P5 第2項>

3 監督は、試合中、次のことをする。

（1）ベンチの最も記録席に近い場所に座り指示をすることができる。但し、試合を妨害又は遅延させない限り、ベンチ前の**監督フリーゾーン**内で立ったままで、あるいは歩きながら指示をしてもよい。（第1図参照）

※追加 **※削除「インプレー中は」（アタックラインからエンドラインの間）**

<P6 第2項>

6 監督は、試合途中から試合に参加するときは、公式記録用紙にサインした後でなければ、監督の権利を行使することはできない。**その際、必ず副審に申し出てサインを行う。**※追加

<P7 第5項>

1 競技者のユニフォーム（ジャージ及びパンツ）は、清潔で、**見苦しくなく**、デザインと色はチームにより統一されたものでなければならない。ただし、競技主催者が認めた場合には、この限りではない。※追加

<P12 第10条>

※ **イン・プレー中のボールがコート内に**落ちたとき**（ボール・イン）**変更「落としたとき」****

<P23 第3項>

1 イン・プレー中、競技者がネット及びアンテナに触れたときは、タッチネットの反則とする。**ただし、アタック及びブロックの動作中に限っては、白布への接触のみを反則とする。（第5項（3））**※追加

2 イン・プレー中、ボールをプレーしようとしていないときに、偶然にネットに触れても、相手チームの競技者のプレーを妨害しない限り反則としない。**また、髪の毛やユニフォームの膨らみがネットに触れた場合も反則としない。** **※附則から本文に追加**

主審・副審のシグナルなどの変更および現行の確認事項

- 1、スタートの吹笛は2回、終了時は3回とする。
- 2、タイムアウトは上の手の指先（下の手の甲）を対象チームに向け静止して表現
- 3、試合開始およびサーブ許可のジェスチャーは肘を伸ばして行う
- 4、コートチェンジの吹笛は1回とする。
- 5、第3セット中のコートチェンジは整列なしで4.を行う。
- 6、オーバータイムのジェスチャーは4回目の接触は左手で指4本、4秒を超えた場合は、更に右手の指2本で左手首を指す。
- 7、プレー中ネットの下を通して相手側のコートにボールが落下した際は、オーバーザセンターライン（パッシングザセンターライン）と同様のジェスチャーをおこなう。
- 8、**副審の正式なジェスチャーは主審に従って行う。**
- 9、**主審・副審は都度都度、アイコンタクトを怠らず、線審・記録・ベンチにも都度都度確認を怠らない。**
- 10、**主審・副審は、ベンチからの質問には適格に応え、一定時間試合を中断した場合を含め、キャプテンおよび監督に説明が必要な場合は、適宜説明をする。**